

# ASAHI BOND

既調合軽量エポキシ樹脂モルタル（日本建築仕上材工業会規格NSKS-005適合品）

## アサヒボンドBE2

アサヒボンドBE2は、エポキシ樹脂とバルーン（ガラス質微小中空球体）を効果的に組み合わせた既調合の軽量エポキシ樹脂モルタルです。軽量で施工性が優れているので、コンクリート等の断面欠損の修復に最適です。ポリマーセメントモルタルに無い多くの特色を持っています。

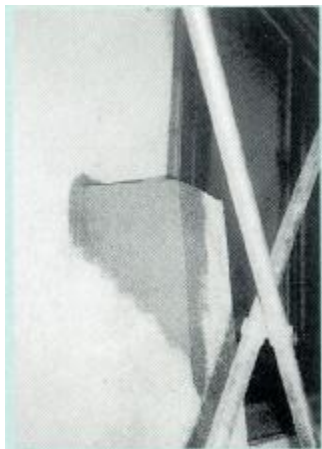
補修前



### 特長

1. 優れた施工性 垂直面はもちろん、上げ裏・役物等の成形補修が簡単に行えます。
2. 厚付けできる 厚付けができるので、何回も塗継ぐ必要がありません。
3. 強力な接着力 コンクリート・モルタル・鋼材に強力に接着します。
4. 鉄筋を保護 透水性が無いので、かぶりの薄い鉄筋も保護できます。
5. 収縮しない 材料自身の硬化収縮が殆んど無いので、コンクリートとの肌分かれを起こしません。
6. 経 済 性 施工性が良く、強度の発現が早いので工期短縮が計れます。
7. 安定した品質 既調合なので品質のバラツキがありません。

補修後



### 用 途

1. コンクリート・モルタル等の欠損補修
2. 鉄筋等の発錆によるコンクリート欠損部の防蝕・保護
3. 不陸調整
4. コンクリート二次製品の成形補修
5. コンクリートのジャンカ充填補修
6. 木コンの穴埋め

## ■ 性 状

品名 項目	BE2一般用 (R)		BE2冬用 (W)	
	主 剤	硬化剤	主 剤	硬化剤
外 観	淡白色モルタル状	グレー色モルタル状	淡白色モルタル状	グレー色モルタル状
主 成 分	エポキシ樹脂 無機質軽量骨材	変性脂肪族アミン 無機質軽量骨材	エポキシ樹脂 無機質軽量骨材	変性脂肪族アミン 無機質軽量骨材
可使時間	約50分 (20℃、500 g)		約30分 (20℃、500 g)	
配 合 比	主剤：硬化剤＝2：1 (質量比)		主剤：硬化剤＝2：1 (質量比)	

## ■ 物 性

試験項目		測 定 値		規 格 値	試験方法
		BE2 R	BE2 W		
単位容積質量	kg/L	0.75	0.75	表示値	JIS A 1174
だ れ	mm	0	0	0	NSKS - 005※
曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	18.4	18.7	10 以上	NSKS - 005
圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	29.1	30.3	20 以上	NSKS - 005
接着強さ	N/mm <sup>2</sup>	2.3	2.5	1.2 以上	NSKS - 005
透水性	ml	0.2	0.2	0.5 以下	NSKS - 005

※日本建築仕上材工業会規格「欠損部補修用軽量エポキシモルタル」

## ■ ポリマーセメントモルタルとの比較

試験項目	アサヒボンド BE2	ポリマーセメントモルタル		試験方法
		アクリル系	SBR系	
だ れ mm	0	0	1.5	垂直面※1
透水量 g	0	—	—	JIS A 1404
	—	2.4	0.7	JIS A 6203
吸水率 %	0.2	1.6	1.6	JIS A 6203
線膨張係数	$6.21 \times 10^{-5}$	$1.73 \times 10^{-5}$	$1.30 \times 10^{-5}$	※2
乾燥収縮	$2.66 \times 10^{-4}$	$4.86 \times 10^{-4}$	$7.41 \times 10^{-4}$	JIS A 1404
				JIS A 6203

※1 だれ試験 アサヒボンド BE2 30mm厚 ポリマーセメントモルタル 10mm厚

※2 ポリマーセメントモルタル試験方法基準 (案), JCI

## ■ ひび割れ耐久性試験

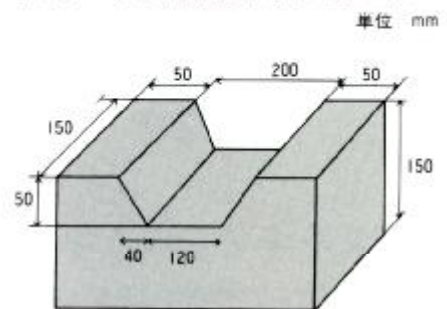
日本建築仕上材工業会規格「欠損部補修用軽量エポキシモルタル」5.11のひび割れ耐久性試験は、コンクリートの欠損部を軽量エポキシモルタルにより補修したあとの耐久性を確認する試験です。コンクリートより引張り強度の大きい軽量エポキシモルタルは、経時により内部収縮応力が増大すると、コンクリートを破壊することがあります。このような補修箇所の劣化が起きないことを確認する促進試験です。

### 試験方法

#### 1. 試験体作製

右図のコンクリート基板の切り欠き部にプライマーを塗布し、調整した軽量エポキシモルタルを直方体となるように成形する。  
20±2℃の試験室で7日間養生したものを試験体とする。

図1 ひび割れ耐久性試験基板



#### 2. 試験方法

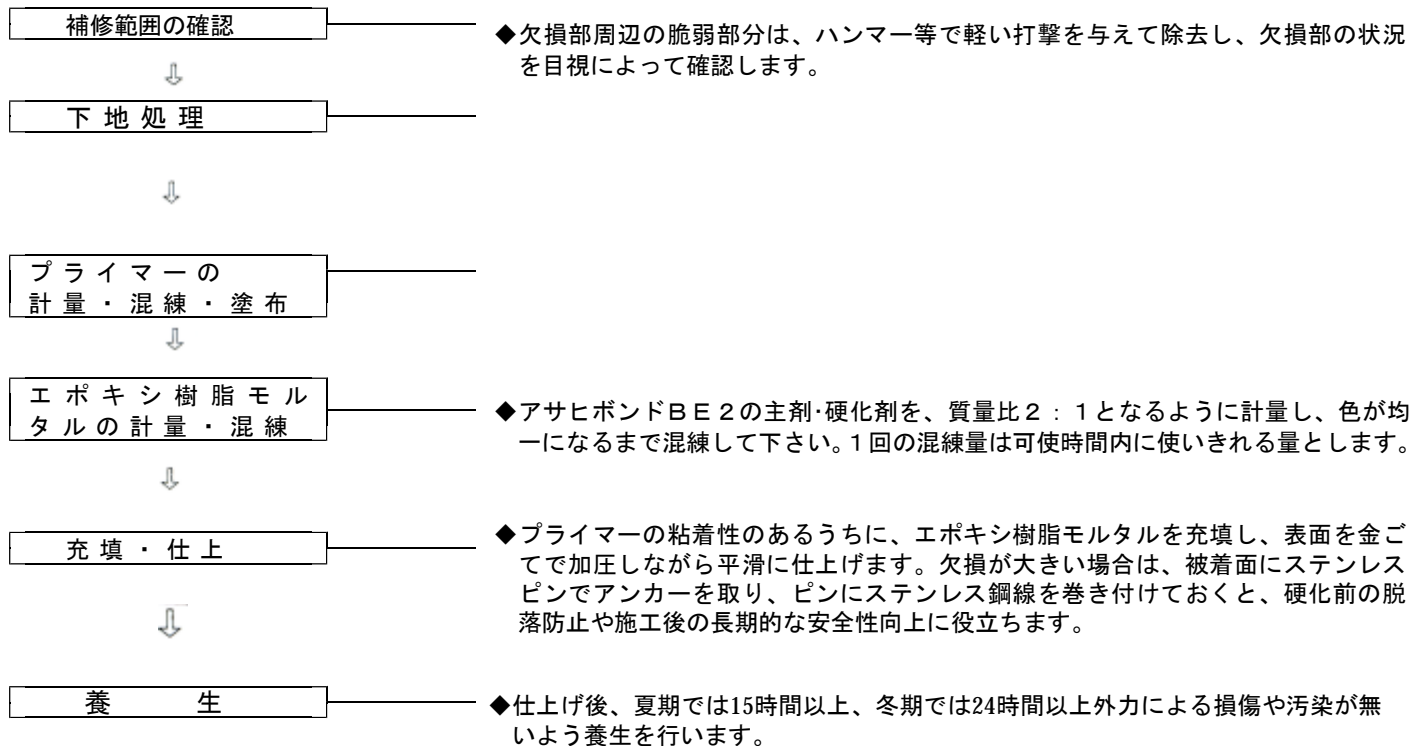
試験体を80±2℃の恒温器で24時間加熱し、直ちに20±2℃の水中に21時間浸せきする。試験体を水中より取り出し、5±2℃で3時間養生する。以上を1サイクルとし、5サイクル試験した後、試験体及び補修材にひび割れが生じたか否かを肉眼で検査し、その状態を記録する。



#### 3. 試験結果

欠損部補修用軽量エポキシモルタル及び試験用基板にひび割れは認められない。

## ■ 施工方法



## ■ 使用上の注意

- ◆一般用と冬用の使用区分は、原則として右表の通りです。

	使用温度の目安	使用時期の目安
一般用	10～35° C	3月～11月
冬用	5～15° C	11月～3月

- ◆材料は、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- ◆器具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで拭き取って下さい。
- ◆低温時（5℃未満）や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご留意下さい。
- ◆皮ふに直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮ふ障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用下さい。
  - ・コンクリート槽のように換気の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用下さい。
  - ・施工中は必ず保護手袋を着用して下さい。
  - ・皮ふに直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落として下さい。
  - ・眼に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けて下さい。

## ■ 梱包容量

6 kg（8ℓ）／セット （主剤 4 kg 硬化剤 2 kg） 1箱2セット入



**アサヒボンド工業株式会社**

〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7  
TEL (03) 3972-4929 FAX (03) 3972-4856